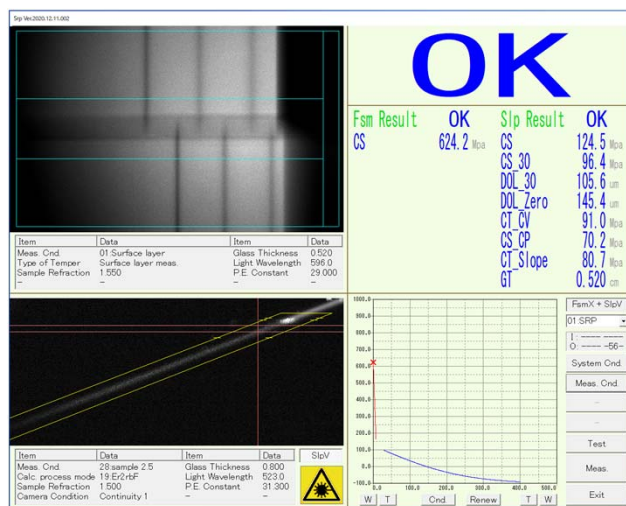


散乱光屈折計型応力計

model: SRP-1000

本装置は散乱光と導波光を利用して、
Li+⇌Na+とK+⇌Na+の2種類のイオン交換による化学強化ガラスの応力分布を一度に測定し、OK/NGの判定をすることができます。

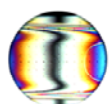
測定時間3秒



仕様

	SLP	FSM
測定範囲(応力)	0-2000MPa	0-1000MPa
測定範囲(深さ)	10-600um	10-100um
測定分解能(応力)	5MPa	1MPa
測定分解能(深さ)	5um	0.1um
測定精度(応力)	表面より深さ50um以上 ±10MPa	±20MPa
測定精度(深さ)	表面より深さ50um以上 ±10um	±5um
基準ガラスに対して		
光源	LD (405/518/640nmのいずれか)	LED (365/596/790nmのいずれか)
プリズム屈折率	1.518 @518nm	1.72 @589.3nm
共通		
測定対象	2段化学強化ガラス、結晶化ガラス	
測定形状	平面 100x20mm以上	
PC	専用(OS、測定ソフト インストール済み)	
OS	Windows 10 pro 64bit 日本語/英語	
サイズ	W550*D440*H220mm (本体)	
重量	20kg (本体)	

* 405nmのLDを長時間連続的に使用すると、装置内部の光学部品がダメージを受けます。
このため、他の波長のLDを使用する時とくらべ、部品の交換サイクルが早くなります。



ORI HARA
INDUSTRIAL CO.,LTD